

教科目標

- (1) 正しく文字を書く知識・技能を伸ばし、毛筆の学習をすることで、硬筆で書く豊富な活動につなげる。
 (2) すべての書写内容を無理なく、効率的にすすめ、喜びや達成感を感じられるような活動を行う。
 (3) 書写で培った力が、国語科をはじめとする各教科の学習場面や学校・社会生活で生かす。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
1、2年生で学習した知識・技能を生かして、さまざまな字体を身に付けて書く。	今までに学習したことを考え、目的に応じて、毛筆や硬筆の両面の特徴、さまざまな書体を区別して書く。	3年間で習得したことを振り返り、楽しみながら積極的に生かしていく。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	文字を使い分ける 1 全国マップ 硬筆・毛筆【2】	①身の回りには文字による多様な表現があることを理解する。	授業観察 作品
5		②身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	
		③積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見付けた文字による多様な表現について発表しようとしている。	
6	2 文字の使い分け 硬筆・毛筆【1】	①身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。	授業観察 作品
7		②目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解する。	
		③積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとする。	
8	3 [コラム]UD書体って何だろう 硬筆・毛筆【1】	①見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深める。	授業観察 作品
		②ユニバーサルデザイン書体の使用例やゴシック体との比較を通して、文字文化の豊かさ確かめる。	
		③積極的に身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し、学習の見通しをもって見付けた文字について理解しようとしている。	
9	4 3年間のまとめ 毛筆【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②毛筆で書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って書こうとする。	

10 11	5 私の好きな言葉 硬筆・毛筆【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②好きな言葉を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分の好きな言葉を書こうとする。	
12	6 〔国語〕季節のしおり3 硬筆【1】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②季節の言葉をなぞる活動のなかで今までに学習した知識・技能を生かし方を考える。	
		③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習をなぞろうとする。	
1 2	7 〔国語〕冊子にまとめよう 適宜	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして学校や部活動の魅力を伝える冊子を作る。	
3	8 〔発展〕なりきり、書聖・王羲之 適宜	①高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解する。	授業観察 作品
		②「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相違点について考える。	
		③積極的に先人の筆跡に関心を持ち、学習の見通しをもって先人の言葉をなぞろうとする。	

定期テスト範囲（予定）（書写なし・・・テストの書体を評価する）

学習上のアドバイス

授業について

- ① 1・2年生の学習を生かし、文字を書きましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。

その他

- ① 文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。
② 1学期は硬筆を学び、2・3学期は毛筆を中心に学習します。